

和合

No.111

2016. 6. 20

題字：三浦修次



“笹巻を作ってみよう！”(おやこ元気塾)でのひとコマ

主な掲載記事

おらほの民俗行事 …………… 2
むかしあそび …………… 2
おっきぐなれの～ …………… 3
こんにちは！保健師です …… 4
畑からこんにちは …………… 4

亀治からのメッセージ ……… 5
よつばっこ通信 …………… 6
こうなってほしちゃ …………… 6
健康レシピ …………… 7
わごう交番 …………… 7
地域インフォメーション …… 8

おらほの民俗行事 [No.8]

西袋獅子踊り 復活と伝承

西袋獅子踊保存会 佐藤 文治 氏

当部落獅子踊りは、文政7年から昭和17年頃まで巡業など興業で各集落などに出向き、踊って商売としていたと伝えられています。

昭和18年から昭和30年までは、当部落皇大神社にて奉納を行なっていましたが、後継者の育成が思うようにいかず、昭和31年以降中止せざるを得ない状況となり、途絶えるに至ったと聞いています。

その当時の関係者は、自分達の世代で永久に消滅させることを惜しみ悲しんだと言います。その後、昭和50年若者達に復活への

機運が生まれ、翌年の神社奉納を目指し装備の整備、踊り手等の練習を部落総員で協力し、翌年8月13日神社での奉納を無事に終えることができました。これで伝統の火が20年ぶりに蘇った記念の

日となりました。それ以来休むことなく今日まで部落民の安全・健康そして五穀豊穡を祈願して奉納を続けています。

練習の中での子供達や年長者

とのふれあいを大切にして、今後途切れることのない部落総員による保存活動を行っていきたいと思います。

毎年8月13日午前10時頃から皇大神社にて約1時間、その後部落内各所にて奉納を行っていますので、ぜひ皆様のお越しをお待ちしております。

一同で…ソーラ・ダン・ダーコ
ダンチキチーキ…。



西袋、夏本番！

むかしあそび

たが転ばし

先端を三角形にした棒をつくり、
これで、桶の^{おけ}たが[※]を転がして
遊んだ。

のちに自転車のリムを回す
ようになった。

※たが…桶の部材をつなぐ竹製の輪



おおばこ相撲

おおばの花の茎を真ん中でまげ、お互いに絡ませて引っ張りあう。先に切れた方が負け。

系電話

- 1、底を取り去った2個の空き缶の片面に^{ろうがみ}蠟紙をかぶせて固定する。
- 2、^{ろうがみ}蠟紙の中央に穴を開け、5メートルほどの木綿糸を通して、引いても抜けないよう両端に玉をつくる。
- 3、口に近づけた空き缶が送話機器、耳にあてた空き缶が受話器になる。
- 4、木綿糸をたるまないようにすると、よく聞こえた。



昭和20年代～、当時の子ども達はどんな遊びをしていたのか…
遊び道具の少ない時代、創意工夫された懐かしい遊びを紹介

はやぐ、あっきぐなれめ～

- ① 琉 → 人を導くリーダーのようになって欲しい。
成 → 人生の成功と無事に成長することを願って。
- ② 近くにある物に手をのばし、何でも口に入れる。
- ③ 荘内神社の泣き相撲に参加し、両者引き分け。
泣き虫なのにケロッとしていた琉成くんでした。
- ④ 初の男の子ということで、あまりの可愛さに
服を大量に買い過ぎました。
- ⑤ お姉ちゃん達と仲良く、健康第一！
元気にたくましく、優しい琉成くんできてね♡。



りゅうせい
檜山 琉成 くん（西袋）

平成27年7月28日生まれ

パパ：高志 / ママ：彩



パパ・ママにインタビュー

- ① 名前の由来は？
- ② 今一番の興味やハマっている遊びは？
- ③ 最近のエピソードは？
- ④ パパママの失敗談（子育てあるある!）
- ⑤ パパママからのメッセージ



- ① 広く大きな心を持って、一步一步着実に歩んでほしいと願って。
- ② おもちゃの車で遊ぶこと。
- ③ 上の子が歌うと一緒に声を出したり、リズムにのって体を動かしたりしていたこと。
- ④ つかまり立ちでテーブルの上の物を掴んだ瞬間、バランスを崩し頭をぶつけてしまった。
- ⑤ 友達をいっぱい作って、明るく元気な男の子になってね！

りひろ
穂積 歩宏 くん（廻館）

平成27年8月15日生まれ

パパ：実 / ママ：瑠理

こんにちは！
保健師です。

平成28年6月からスタート！



第四学区担当
石川 丁子
あっこ

健康 **しょうない** マイレージ事業

に参加してみませんか？

健康しょうないマイレージ事業とは…

町民一人ひとりが自主的に健康づくりに取り組むことを応援するものです。ポイントを貯めて、保健福祉課に提示することで、「やまがた健康づくり応援カード」や「商品券かハッピーシール」をゲットすることができます。

■参加方法

①ポイントカードを手に入れましょう

設置場所：余目保健センター健康推進係
立川庁舎健康福祉係など

②ポイントを貯めましょう

健康しょうないマイレージ事業の対象となる事業に参加して、ポイントを貯めます。

例：町や職場の健康診断・がん検診を受ける、
健康づくり事業・介護予防事業に参加する…など。

※対象事業の詳細は「広報しょうない 5月20日号」の
折り込みちらしをご覧ください。

③ポイントが貯まったら

25ポイント達成したら「やまがた健康づくり応援カード」獲得！

50ポイント達成したら 500円分の「ゆりカード」
または「ハッピーシール」獲得！

■対象者

庄内町に住所のある20歳以上の方

■実施期間 平成28年6月1日(水)～

■問合せ・申込み

健康推進係（余目保健センター） ☎ 42-0148

畑からこんにちは

5月下旬、うすい青空と眩しい日差し、庄内平野を強いだし風が吹き抜け、田植えを終えたばかりの水田の水^{みなも}面がかるく波打っていた。そんなお昼前に畑に出かけた…

今、高橋家の食卓には畑直送の新鮮な春キャベツやアスパラ菜、
^{さんとうな}山東菜、ニラなどの食材で彩っています。去年の秋に植えたものや越冬したもの、春になって種まきしたものなど、現在10種類の野菜を植えているそうです。

今年は、種からの発芽がうまくいかず、買った苗を植えたという。その植えたばかりの苗を強いだし風から守るため、肥料袋などで風避けをしたり、ドーム型に有孔ポ

リをかけたりと対策は万全。天気によっては、風が吹き始める前の早朝5時ころから畑に出ているそうです。畑管理については、「人それぞれだと思うども、私は虫よけどが草とりは薬を使ったんだ。あど、マルチかげだり楽な方法だったんだ。」とのこと。

収穫の喜びと採れたて新鮮野菜を家族に食べてもらうことが一番とグラウンド・ゴルフや同年代の友達と日帰り温泉旅行などでリフ



しょうこ

高橋 昌子さん（前田野目）

レッシュして畑仕事に励む昌子さんでした。

亀治からのメッセージ ～ちょこっとおかしの農業～

6月^{じゅうたん}は、田植えが終わり、庄内平野一面が緑の絨緞を敷き詰めたかのような美しい田園風景は今も昔も変わらない。

虫送り

気温が高まり、
湿気も多くなるに
したがって、稲の害虫
(いなご、うんか、
ずいむし)等の発生
も多くなる。



虫送りの様子

稲が害虫の被害を
受けないように氏神様の加護をお願いする。農家
の親方をはじめ、若勢連中一同(使用人など)が
神社に集まり、宮司のご祈祷を受け、虫よけのお
祓いをしてから、宮司を先頭に鉦や太鼓を鳴らし
ながら、竹や萱^{かや}などで造った舟に御供物をして、
行列と一緒にかついで行き、村はずれの川に流し
てやる。

また、そのとき一緒に祈願していただいた符を
持ち帰り「虫除け符」として田んぼに立てられた。

除 草



除草機押し

田んぼに植え
られた稲は、自
然の恵みを一身
に受けながら、
一段と元気がで
て色づき始める。
農家にとって厄介

なのは、雑草。稲に負けない勢いで生えてくるの
で、はじめに「機械除草」一番除草から二番、三
番除草と続く。縦横押して、三反歩(30アール)
の除草が一人前のノルマであった。

最後に「よつん這い」になっての手取り除草と
いった行程で
大変な時間と
重労働を
要した。



手取り除草

稗(ひえ)取り

7月になると稲の丈も長くなり、田面には直射
日光が当たらなくなるので、それ以降の雑草は生
えにくくなるが、取り残しの「稗^{ひえ}」が稲の丈より
長くなって実を結んでくる。そのままに放置して
おくと稗の種がこぼれてしまい、翌年・翌々年に
何十倍・何百倍の稗をはやすことになるので、1
本残さず稗を取る。

除草機押し～手による草取り～稗取りと一連の
作業は稗1本もない「きれいな田んぼ」で「立派
な稲」を延々と作り続ける上で欠かせない農作業
であった。

松浦一字氏[資料館運営協議会委員]

亀ノ尾の里資料館

*企画展「屏風展」 7月9日(土)～8月21日(日)

*ギャラリートーク

日時 7月28日(木) 午後2時から

講師：酒田あいおい工藤美術館 館長 工藤 幸治氏



第四幼稚園

よつぱつこ通信



ドキドキわくわく体験

5月16日、庄内たがわ農協青年部新余目支部の皆さんのご協力をいただき、南野新田の秋庭さんの田んぼで、初の田植え体験をさせていただきました！

毎日自分達の食べているご飯がどんなふうに成長していくのか、一年をかけて見届けていきたいと思っています。

身近にある田んぼですが、なかなか触れる機会が少ないようで、実際に入るのは初めての子がほとんどでした。素足になって田んぼに入った年長児の子ども達は…「最初は冷

たかったし、なんか怖かったけど、どんどん楽しくなってきた。」「ぬるっとして泥んこ遊びみたいで、面白い！」「苗、もっとちょうだい」「こっちも植えるよ」「みんなでおいしくなれって言ったから、きっとおいしいお米になるよ！」など、いつも以上に会話が弾み、手や足・顔

まで泥んこになりながら楽しみました。

田植えは大成功に終わり、「ときどき、また見に行こう」「看板も作ろう」と相談中です。



第四小学校

6年生のみんなが願う『和合の里』の未来像

こうなってほしいちゃ 和合の里



わたしは、笑顔がたえない和合の里になってほしいです。友達や地域の人たちと仲よくなって、笑顔たくさんなところになりたいです。

みゆう
小林 美友 (南野)



みんなが、明るく楽しい地域になってほしいし、四小自慢のあいさつをもっと堂々と言える和合の里にしたいです。

こはる
富樫 心春 (福島)



みんながえがおで、地域みんなにあいさつをしてほしいです。

ゆうり
樋渡 佑吏 (廻館)



未来の和合の里は、みんなが笑顔で、みんなが遊べて、自然が豊かな和合の里になってほしいです。

しおん
今野 志音 (返吉)



私は、いつもみんなが笑顔いっぱい、自然豊かな地域みんながやさしさを持っている和合の里になってほしいと思います。

ちさき
佐藤 知咲 (古閑)



健康しシビ

ちりめんサラダ

材料(5人分)

ちりめん …… 50g
大 根 …… 1/3本
キュウリ …… 2本
コーン缶 …… 小缶1缶
＜調味料A＞
しょうゆ …… 大さじ2
サラダ油 …… 小さじ1
酢 …… 大さじ2と1/2
砂糖 …… 小さじ1

作り方

- ① 大根は太めのせん切り。
キュウリは輪切り。
ちりめんは少量の油でカリッと
するまで揚げて冷ます。
- ② ①の材料に水気を切ったコーン
とAの調味料を混ぜ合わせる。



ひとくちメモ

■体にうれしい！ちりめんじゃこの栄養

ちりめんじゃこには健康には
嬉しい栄養素がたくさん入っています！

ちりめんじゃこの
特徴は4つ！

- ・栄養が豊富
- ・骨がない
- ・まるごと食べられる
- ・美味しい

カルシウム、ビタミンDなど豊富に含まれ、健康に非常に優しい食品です。特にカルシウムは100gあたり約520mg含まれており、牛乳と比較しても200ml瓶の2.5本分に相当します。

また、お酢や梅干、柑橘系の食品などと合わせて食べるとカルシウムが体内に吸収されやすくなります。

「Healthi[ヘルシル]:ちりめんじゃこより」

わごう交番

幹線道路での重大事故多発

前をよく見て、運転集中！



*平成27年の事故で
一番多い事故は…

追突事故が **4割以上**
(全事故6,446件中2,676件)

【前方(動静)不注意の原因】

- ・考え事、ぼんやり
- ・人や風景を脇見
- ・助手席を脇見
- ・会話に夢中
- ・寝不足・疲労
- ・相手の動きに
注意していない

前方をよく見ていれば、多くの事故が防げます

歩行者を守ろう！



*平成27年全死者(57人)のうち
歩行中の死者18人
さらに、横断中の死者が11人で

全死者の**約2割**

歩行者を安全に
横断させましょう！

指定管理受託に向けた懇談会開催

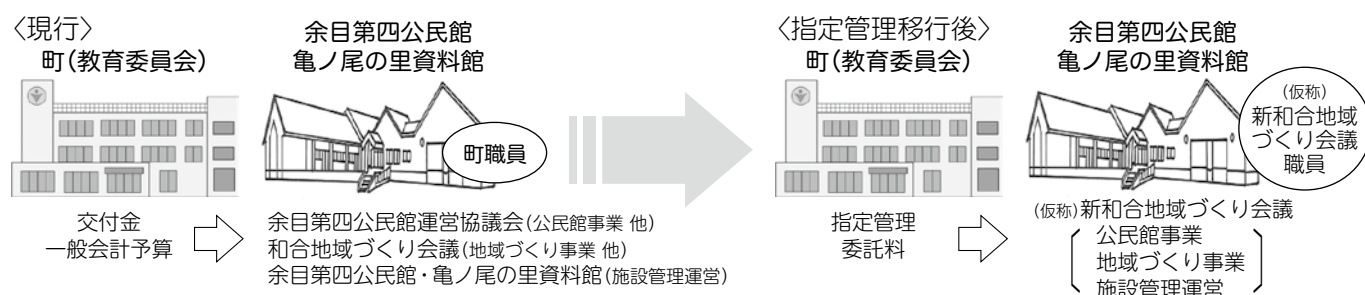
6月8日、余目第四公民館・亀ノ尾の里資料館の指定管理受託に向けた懇談会を和合地域づくり会議が主体となり菅原正志教育長を迎え開催した。

佐藤一和合地域づくり会議会長から「町では平成29年度に公民館主事を含む嘱託職員制度見直の予定があり、公民館主事等の勤務体系が変更となる。これまで自治会長会、和合地域づくり会議などで協議を行い、これまで同様の公民館事業・地域づくり事業を継続するためには、指定管理受託が一つの手段であり、平成29年4月受託に向けて協議を進める事になった。」と経過説明があり、教育長からは「町では公民館

の指定管理制度導入の方向にある。ただ地域住民の理解が得られないと進める事はできない。」と挨拶があった。

また、出席者から町からの支援は？経費は？時期が早いのでは？などの意見が出された。

和合地域づくり会議としては「地域住民の理解を得られるように努める。住民サービスを低下させないために指定管理による職員確保が必要。」として、人がつながり元気な「和合の里」づくり推進のため平成29年4月からの指定管理受託に向けて協議を続けることになった。



指定管理者制度？

町が所轄する公の施設について、管理・運営を民間事業会社含む法人やその他の団体に委託することができる制度。公の施設の管理運営に民間等のノウハウを導入することで効率化を目指すものです。

「福本袋 (ふっくぶっくろー)」メンバー募集！

余目第四小学校読み聞かせボランティア「福本袋」では、子ども達に絵本読み聞かせや紙芝居、昔話などをしてくださる方を募集しています。木曜日8時20分から8時35分まで、年間15回くらい実施していますが、都合のつく時だけでも大歓迎。和合の里の心豊かな子ども達を育むため皆さんの参加をお待ちしています。

【問合せ先】余目第四小学校 ☎44-2103 尾崎、保科

余目第四公民館
亀ノ尾の里資料館
7月6日(水)は

全館清掃日で
午後5時からの開館になります。ご協力をお願いします。

編集後記

初 夏のまぶしい日差しの下、外での活動がますます活発になってくるこれからの時期。

6月5日の町民運動会は、大人も子どもも地域一致団結の気持ちのいい汗を流した1日でした。大会当日はもちろん、この日のための準備や練習など、みな

前 さん、本当にお疲れ様でした！
回号から連載がスタートした「むかしあそび」。昭和20年代の子ども達は、自然の中から遊びの素材をさがして、自分たちで工夫しながら遊んでいました。“いかに楽しく遊べるか”とルールや道具作りをして

いく中で遊びながら自然にたくさんさんの知恵を身につけていったのでしょう。今の和合っ子も外遊びが大好き。昔の遊びは、きっと今も変わらず子ども達を楽しませてくれるはずです「生きる力」と共に昔遊びが伝承されていけばいいと思います。